

関西支部出身の「低温工学・超電導学会フェロー」の紹介

50周年記念誌編集委員長 石川 修六

1. はじめに

低温工学・超電導学会のホームページに記載されているように、「低温工学・超電導学会では、低温工学・超電導技術関連分野の学術または教育あるいは産業の発展・普及・振興、および本会の発展に顕著な貢献があった会員に対し、『低温工学・超電導学会フェロー』の称号を授与し、その功績を称える」としてフェロー顕彰制度が設置されています。

関西支部出身の4名の「低温工学・超電導学会フェロー」を略歴と共にここに紹介します。

名前の後の括弧内は称号授与時の所属、あるいは元の所属機関名です。

2. 2016年度フェロー授与

さとう けんいち
佐藤 謙一

(住友電気工業株式会社)



略歴 1948年2月18日生。

1971年住友電気工業株式会社入社、超電導線材及び応用技術の開発に従事、研究開発本部技師長／フェロー。科学技術振興機構プログラムオフィサー。1999年度低温工学協会大山記念論文賞受賞。2010年日経BP社日本イノベーション大賞優秀賞受賞。2011年IEC トーマスエジソン賞受賞。2012年より2016年まで低温工学・超電導学会会長。

やまだ ただとし
山田 忠利

(マグネットテクノロジー)



略歴 1945年10月1日生。

1968年三菱電機株式会社入社、MRI マグネットの開発・実用化、レーストラック型エポキシ樹脂含浸コイルのクエンチ防止技術の開発等に従事。2001年先端技術総合研究所長、2006年菱電化成株式会社取締役社長、2011年マグネットテクノロジー代表、現在に至る。1996年電気学会基礎・材料・共通部門副部門長、2001年パワーエレクトロニクス研究会会長、2000年低温工学協会理事、2010年より低温工学・超電導学会監事。1976年・1990年・1992年近畿地方発明奨励賞受賞。1980年電気学会学術振興賞論文賞受賞。1994年大阪ニュークリアサイエンス協会賞受賞。

3. 2022年度フェロー授与

にしじま しげひろ
西嶋 茂宏

(福井工業大学)



略歴 1952年10月1日生。

1993年より大阪大学産業科学研究所助教授、2001年より大阪大学工学研究科原子力工学専攻、環境エネルギー工学専攻にて教授として教育・研究に従事。大阪大学名誉教授。強磁場、耐放射線先進複合材、磁気分離法による放射能除染の研究開発等に従事し、環境・エネルギー工学、原子力工学の分野で人材を輩出。2012年第16回リサイクル技術開発本田賞受賞。2016年第20回超伝導科学技術賞特別賞受賞。2018年環境放射能除染学会学術賞受賞。2022年日本磁気科学会功労賞受賞。

よつや つとむ
四谷 任

(大阪産業技術総合研究所)



略歴 1948年5月21日生。

1974年大阪府立工業技術試験所

(現大阪産業技術研究所)入所。スパッタ薄膜の低温領域での電気伝導機構の研究、および磁場に不感な極低温用汎用温度計の開発、超伝導中性子検出デバイス開発等に従事。2004年大阪産業技術研究所情報電子部部長。2008年大阪府立大学21世紀科学研究機構 特認教授。2013年大阪産業技術研究所技術コーディネータ。2004年文部科学大臣賞(研究功績者)受賞。

